

## 奥の坊の霊水（おくのぼうのれいすい）

位置図



奥の坊の霊水



奥の坊の霊水

観音寺市内には数多くの出水が存在しますが、そのうちの 하나가、出作町北地区の民家横の「奥の坊の井戸」と呼ばれる霊泉です。

記録などは残っていませんが、この地区一帯は「寺屋敷」と呼ばれており、「奥の坊」は昔あった寺の名前だとされています。

この井戸は、昔、弘法大師あんぎゃが行脚中に、この地でのどの渴きを覚えたので、錫杖しゃくじょうの先で突くと清水が湧き出した場所だと云われています。

それから何百年来一度も水が涸れたことがないという不思議な井戸で、殊に旱魃かんぼつの際には、この小さな井戸の水で多くの農家が救われたことから、土地の人たちは「霊水」として大切に保存してきました。

今も井戸の水は、渇水期になっても湧出量が変わることなく、土地の人々に恩恵深い「霊水」として親しまれています。

参考文献：観音寺市の文化財、観音寺市史



奥の坊の霊水



弘法大師 空海